

事業実施報告

開催日	令和7年10月4日(土)～10月5日(日)		
事業名	テンちゃんキャンプ ～きらきらたんけんたい～ (ボランティア自主企画事業)		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	39人
対象	小学校4～6年生		
関係機関名	-		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

[事業の内容]

1泊2日の日程で「出会いの会 (アイスブレイク)」・「みんなでおやつづくり (クッキー)」・「オリジナル星座づくり」・「夜空観察」・「テンちゃんたんけんラリー (ウォークラリー)」・「おわりの会 (振り返り)」を主なプログラムとして行った。当日までの準備 (企画立案・実地踏査) は、ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトにおいて行った。

今年度は、月・星・星座をテーマに、「テニパークから見える星空の美しさや自然の豊かさに触れることで、これからの体験や学びにつながるきっかけとする」「仲間と協力する活動を通して、自分の想いを相手に伝える」ことを事業目的として実施した。おやつ作りや星座づくりで天体への関心を高め、夜空観察では望遠鏡を用いて月や星を観察した。また、テンちゃんたんけんラリーでは、天体や自然に関するクイズを通して自然に触れる意欲を促した。各プログラムの終了時に振り返りの時間を設けたことで、子どもの発見を把握でき、事業運営にも活かすことができた。

運営では、参加者が楽しく安全に過ごせるよう、子ども6～7人の班にボランティア(以下:ボラ)を3～4名ずつ配置し、全体統括・班統括がフォローする体制とした。また、事業2週間前にオンラインミーティングや現地での事前準備を行い、ボラ同士で活動内容や安全管理の情報共有を行うとともに、先輩ボラが後輩ボラをサポートしながら事業を進めた。

[成果]

・事業後の参加者アンケートでは、事業全体に関する満足度について、100%の参加者から「満足」「やや満足」の肯定的評価を得ることができた。また、ボラの対応についても、同様に100%(1名未回答)の肯定的評価を得ることができ、参加者とボラがよい関係を築けていたことがうかがえる。

・参加者の感想では、「いっぱい友達ができた」「(クッキーの)形を作るのが難しかったけど、楽しくできた。」「月の表面がデコボコしているのがよくわかった」「ハンモックで風を感じることができた」「自然の空気が新鮮で、また来たいと思った。」等の感想があった。2日間の活動を通して、子どもは月や星、星座などへの興味を深めるとともに、自然や仲間との関わりの中で多くの学びや気づきを得ていた。

・ボラの感想では、「子どもの突発的な行動を予測しながら、ケガをしないかなど先のことを考えて行動できた。」「子どもが学校等での既知情報やそれを基に考えることができる内容が多く設定されており、家や学校に戻った後の活動につながるなど感じた。」「話し合いが進まない時は自分からアイディアを出すことが大事だと感じた。」等の感想があった。ボラ一人ひとりが、子どもとの関わりを通して新たな気づきや学びを得ていた。安全面への配慮や主体的な関わりを意識しながら、子どもの体験活動を支える姿がたくさん見られた。

・事業2週間前に、ボラ全員を対象に、オンライン及び集合での事前準備を実施した。事業内容やボラとしての心構え、「スタッフが守る8つのやくそく」について資料を用いて事前に説明をしたことで、当日の運営や企画ボラとの連携が円滑に進んだ。

[課題]

・中心の企画メンバーが教育実習等で不在となることが多く、限られたメンバーで企画を進める期間が長かった。昨年度に続く課題のため、来年度は日程調整を工夫する。

・悪天候により、時間帯によっては月や星を観察できない参加者がいた。天候の変化を事前に想定し、今後は参加者全員が平等に観察(活動)できるような体制を検討する必要がある。

・今回は班を越えた活動が少なく、子どももボラも班以外の子どもと関わる機会が限られた。今後は、はじまりの会以外にも全体で交流できる活動を取り入れることを検討したい。

状況写真



「出会いの会」



「おやつづくり」



「オリジナル星座づくり」



「夜空観察」



「テンちゃんたんけんラリー」



「おわりの会」